

# 本だいすき！



玉島小学校  
図書室  
令和3年5月

風薫る5月、木々の新しい葉っぱ(若葉)が あざやかです。5月(さつき)は皐月とも書きます。苗代で育てた早苗を田に植える時期なので、早苗月とっていたものが、略されて「さつき」になったと言われています。5月は、こどもの日、母の日、楽しい行事がつづきます。

## 図書室の使い方

図書室に来る時は、必ず手洗い・アルコール消毒をしてからくるようにしてください。

・本を読むとき読んだ後も、同じく手洗い消毒を忘れずに！

・借りた本は一人で読みましょう。みんなで見ない。

・本を返却した後には1冊ずつ消毒します。

・机は対面にならないよう配置し消毒しています。

### 【 授業時間 】

・手洗いアルコール消毒を教室でしてから来てください。

・返却、貸出は一齐には行わず5人程度のグループで行います。待っている間は読書を。

貸出が終わったら次のグループへ

・カウンターに並ぶ時は距離をあけて並びましょう。(目印のテープを貼っています)

### 【 休み時間 】

・手洗いアルコール消毒を教室でしてから来てください。

・中休みを下学年、昼休みを高学年に時間を分けて行います

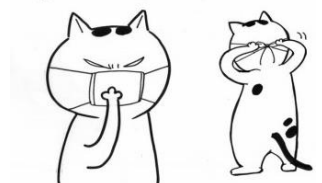
・中休み昼休みの順番は交互にします。(図書室前に貼りだします)

・カウンターに並ぶ時は廊下(理科室側)に距離をあけて並びましょう。

手もしゃっしゅしようね



マスクつけようね



読書ビンゴが始まるよ

クリアした人には

プレゼントがあるよ



しめきりは

7月9日

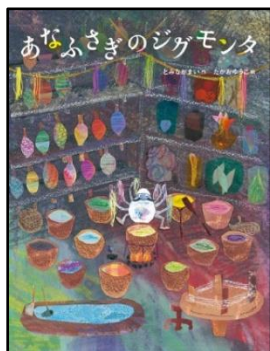
まで



# だい かいせいしょうねんどくしょかんそうぶんぜんこく 第66回青少年読書感想文全国コンクール

## かだいとしょ き 課題図書が決まりました！！

ねんせい  
【1・2年生】



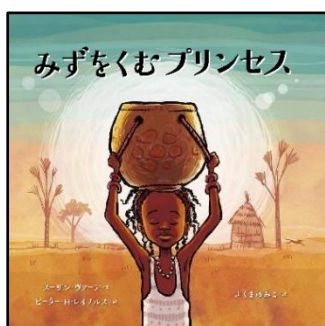
### あなふさぎのジグモンタ

ジグモンタは、穴ふさぎが得意な服の修理屋さん。でも、みんな新しいものを欲しがります。「穴ふさぎなんて、もう役に立たないんだ」。気落ちしたジグモンタは、気晴らしに森に出かけますが……。修理という作業を通じて、古いものを使い続ける意味とともに、物作りの喜びまでもが伝わってくるお話。すぐに新しいものが手に入る今こそ読みたい絵本です。



### そのときがくるくる

小学一年生のたくまには、苦手なものがあります。それは、なすび。大人になると、いつの間にか食べられるようになっていたりしますが、小学生にとって大問題……。



### みずをくむプリンセス

わたしはプリンセス・ジージー。わたしの王国、それはアフリカの空と土ほこりのたつ大地。でも、そこに水はない。だからわたしは、朝はやくおきて、ずっとずっととおくまで水をくみにいく。いつの日か、わたしの王国に、つめたくてきれいな水があるといいな。いつの日か、きっと。



### どこからきたの？おべんとう

おべんとうには卵焼き、アジフライ、ポテトサラダなど、おいしいものがいっぱい！でも、どこから来て、どうやって食べられるようになったのかな。食材の生産現場、流通過程、調理の仕方もあるユニークな食育絵本。

## 【3・4年生】

### わたしたちのカメムシずかん：やっかいものが

#### たから はなし 宝ものになった話



「カメムシ」と聞くと、どんなことを思い浮かべますか？ 「あの臭い虫？」と、おそらくあまり良いイメージはもっていないのではないのでしょうか。でも、じつはカメムシには、美しいものや、かわったかたちのものなど、いろいろな種類がいて、よく見ると、なかなかおもしろい生きものなのです。岩手県葛巻町にある小学校では、そんなカメムシをみんなでさがして、調べて、「カメムシずかん」を作りました。

### ゆりの木荘の子どもたち



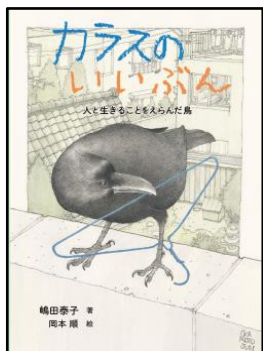
みぢかな鳥、そしてきらわれものの、カラス。ごみをちらかす、黒くて不吉、大きくてこわい……など、わるいイメージばかりだけれど、本当はどんな鳥なのでしょう？  
もともとは森でくらしていたカラス。人の出すゴミにひきよせられて街へとおりてきました。しかし、街のくらしも楽ではありません。なわばりあらそいのきびしさ、子育ての苦勞など、いがいと知られていないカラスの生活をほりさげます！

### ぼくのあいぼうはカモノハシ



気のやさしい男の子と、ちょっとすましたカモノハシのとぼけたやりとりが楽しい、ほのぼのとした冒険物語。

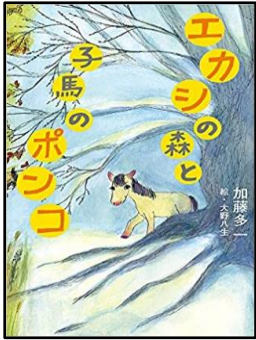
### カラスのいいぶん：人と生きることをえらんだ鳥



ゆりの木荘は、100年以上も前に立てられた立派な洋館。いまは有料老人ホームになり、サクラさんやモリノさんたち、6人の老人が住んでいます。春風が吹くある日、サクラさんはだれかが歌う手まり歌、時々聞こえる歌を耳にします。モリノさんにいわれるまま、サクラさんがその歌を口ずさんでみると、ふたりは突然、子どもになってしまいました。そう、87歳のおばあさんではなく、10歳ばかりのおんなの子に……。

## 【5・6年生】

### えかし もり こうま ほんこ エカシの森と子馬のポンコ



ここは、わたしの<sup>もり</sup>森。すきなところへ、すきなように<sup>ある</sup>歩く。長老<sup>ちやうろう</sup>の木・エカシとふしぎなカメムシたちといっしょにくらす自由の森。  
<sup>しょうじょ</sup>少女からおとなになる子馬の<sup>こうま</sup>ポンコを<sup>ほんこ</sup>やさしいまなざしで<sup>えが</sup>描く  
ものがたり  
物語。

### さんど いっちくらぶ サンドイッチクラブ



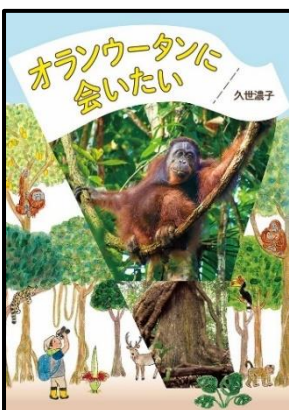
<sup>ひみつ</sup>秘密の<sup>くらぶ</sup>クラブ活動へようこそ。なりたい自分<sup>じぶん</sup>って?やりたいこと<sup>こと</sup>って?  
<sup>あら</sup>新たな<sup>せかい</sup>世界<sup>む</sup>に向き<sup>しょうじょ</sup>あ<sup>せい</sup>って<sup>ちやう</sup>い<sup>ものがたり</sup>く<sup>もの</sup>少女<sup>たち</sup>の<sup>せい</sup>成長<sup>ものがたり</sup>物語。

### おいで、あらすか! おいで、アラスカ!



<sup>こいぬ</sup>子犬のときに<sup>か</sup>飼<sup>あ</sup>っていた<sup>あ</sup>アラスカが、<sup>てんこう</sup>転校<sup>すふえん</sup>してきた<sup>スフェン</sup>スフェンの  
<sup>かいじょけん</sup>介助犬<sup>し</sup>になっていた。それを<sup>し</sup>知<sup>ける</sup>った<sup>まよなか</sup>パーゲルは<sup>まよなか</sup>真夜中、<sup>スフェン</sup>スフェンの  
<sup>へや</sup>部屋<sup>たす</sup>を訪<sup>あ</sup>ね、<sup>あ</sup>アラスカ<sup>つ</sup>を<sup>さ</sup>連<sup>けいかく</sup>れ<sup>する</sup>去<sup>が</sup>ろうと<sup>けいかく</sup>計<sup>する</sup>画<sup>が</sup>するが…。

### おらんうーたん あいたい オランウータンに会いたい



<sup>ほるね</sup>ボルネオ島の<sup>ふか</sup>深い<sup>もり</sup>森<sup>なか</sup>の中、<sup>たか</sup>高い<sup>き</sup>木<sup>うへ</sup>の上<sup>こどく</sup>で<sup>こどく</sup>孤独<sup>にくらす</sup>にくらす  
<sup>おらんうーたん</sup>オランウータン。森<sup>なか</sup>の中<sup>かれ</sup>で<sup>あ</sup>彼<sup>ほうほう</sup>ら<sup>い</sup>に出<sup>い</sup>会<sup>きび</sup>う<sup>きび</sup>方法<sup>とは</sup>とは?意外<sup>い</sup>と<sup>きび</sup>厳<sup>きび</sup>しい  
<sup>しょくせい</sup>食<sup>いのち</sup>生活<sup>い</sup>、<sup>じゅじょう</sup>命<sup>い</sup>が<sup>い</sup>け<sup>い</sup>の<sup>い</sup>樹<sup>い</sup>上<sup>い</sup>移<sup>い</sup>動<sup>い</sup>、<sup>けんか</sup>い<sup>けんか</sup>じめ<sup>けんか</sup>も<sup>けんか</sup>ケン<sup>けんか</sup>カ<sup>けんか</sup>も<sup>けんか</sup>ない<sup>けんか</sup>平和<sup>けんか</sup>な<sup>けんか</sup>社会<sup>けんか</sup>、  
そして「俺<sup>おれ</sup>は<sup>つよ</sup>強い」と<sup>おも</sup>思<sup>へん</sup>う<sup>へん</sup>と<sup>へん</sup>変<sup>へん</sup>身<sup>しん</sup>する<sup>おす</sup>オス!さあ、<sup>いっしょ</sup>一<sup>いっしょ</sup>緒<sup>いっしょ</sup>に  
<sup>おらんうーたん</sup>オランウータンの<sup>ふしぎ</sup>不思議<sup>せい</sup>な<sup>せい</sup>生活<sup>を</sup>を<sup>の</sup>の<sup>ぞ</sup>い<sup>て</sup>て<sup>み</sup>ま<sup>し</sup>よ<sup>う</sup>!

# リレー<sup>うちどく</sup>家読<sup>が</sup> はじまります

## ❀今年度<sup>こんねんど</sup>の家読<sup>うちどく</sup>リレーは・・・

コロナウィルス<sup>かんせんたいさく</sup>感染対策として、ご家庭<sup>かてい</sup>で家読<sup>うちどく</sup>をして学校<sup>がっこう</sup>に本<sup>ほん</sup>を  
戻<sup>もど</sup>されたときに消毒<sup>しょうどく</sup>して次<sup>つぎ</sup>に回<sup>まわ</sup>します。

## ❀家読<sup>うちどく</sup>ってなに？

「家読<sup>うちどく</sup>」とは、家庭<sup>かてい</sup>での読書<sup>どくしょ</sup>をと<sup>お</sup>して家族<sup>かぞく</sup>のコミュニケー  
ション<sup>はか</sup>を図<sup>と</sup>ろうという取<sup>と</sup>り組<sup>く</sup>みです。

読<sup>よ</sup>んだ本<sup>ほん</sup>のこと、本<sup>ほん</sup>から得<sup>え</sup>た知<sup>ち</sup>識<sup>しき</sup>や感<sup>かん</sup>動<sup>どう</sup>を家<sup>か</sup>族<sup>ぞく</sup>で語<sup>かた</sup>らいながら、  
楽<sup>たの</sup>しい時<sup>じ</sup>間<sup>かん</sup>をす<sup>ご</sup>して<sup>く</sup>だ<sup>さ</sup>い。

## ❀リレー家読のやくそく

★絵本<sup>えほん</sup>は誰<sup>だれ</sup>と読<sup>よ</sup>んでもいいです。

★読<sup>よ</sup>み終<sup>お</sup>わったら本<sup>ほん</sup>や家<sup>うち</sup>読<sup>どく</sup>につい<sup>て</sup>の感<sup>かん</sup>想<sup>そう</sup>を<sup>か</sup>書<sup>か</sup>いて<sup>く</sup>だ<sup>さ</sup>い。

(お家<sup>うち</sup>の方<sup>かた</sup>もよろしくお願<sup>ねが</sup>い<sup>し</sup>ます。)

★本<sup>ほん</sup>を<sup>も</sup>ら<sup>っ</sup>て、3日<sup>が</sup>た<sup>っ</sup>たら学<sup>が</sup>校<sup>こ</sup>うへ。

(ク<sup>ぜ</sup>ん<sup>いん</sup>全<sup>ま</sup>員<sup>わ</sup>に<sup>よ</sup>回<sup>お</sup>す<sup>も</sup>ので読<sup>よ</sup>み終<sup>お</sup>わ<sup>っ</sup>たら<sup>す</sup>ぐ、持<sup>も</sup>っ<sup>て</sup>き<sup>て</sup>く<sup>だ</sup>さ<sup>い</sup>。)



か こ 過去<sup>かこ</sup>には、こんな感<sup>かん</sup>想<sup>そう</sup>がありました。



・ 3人<sup>わ</sup>で輪<sup>よ</sup>になり読<sup>よ</sup>んでい<sup>き</sup>ました。本<sup>ほん</sup>を<sup>と</sup>お<sup>し</sup>て家<sup>か</sup>族<sup>ぞく</sup>で共<sup>き</sup>通<sup>う</sup>の<sup>わ</sup>話<sup>だ</sup>い<sup>わ</sup>が<sup>で</sup>き<sup>て</sup>と<sup>て</sup>  
もよ<sup>い</sup>経<sup>けい</sup>験<sup>けん</sup>にな<sup>り</sup>ま<sup>し</sup>た。

・ 家<sup>か</sup>族<sup>ぞく</sup>全<sup>ぜん</sup>員<sup>いん</sup>が<sup>そ</sup>ろ<sup>う</sup>こ<sup>と</sup>が<sup>難</sup>しく、本<sup>ほん</sup>人<sup>にん</sup>、母<sup>はは</sup>、兄<sup>あに</sup>の3人<sup>と</sup>で取<sup>と</sup>り組<sup>く</sup>み<sup>ま</sup>し<sup>た</sup>。

感<sup>かん</sup>想<sup>そう</sup>も2人<sup>ちが</sup>とも<sup>ちが</sup>それぞれ違<sup>ちが</sup>い、おもしろ<sup>ゆう</sup>か<sup>つ</sup>た<sup>で</sup>す。夕<sup>ゆう</sup>食<sup>しょく</sup>後<sup>ご</sup>は、テ<sup>て</sup>レ<sup>れ</sup>ビ<sup>び</sup>が<sup>つ</sup>き  
っ<sup>ぱ</sup>な<sup>し</sup>が<sup>お</sup>お<sup>い</sup>い<sup>の</sup>で、い<sup>つ</sup>も<sup>ちが</sup>と<sup>ちが</sup>違<sup>ちが</sup>った<sup>と</sup>て<sup>も</sup>よ<sup>い</sup>時<sup>じ</sup>間<sup>かん</sup>が<sup>も</sup>て<sup>ま</sup>し<sup>た</sup>。

・ 皆<sup>みんな</sup>で<sup>よ</sup>読<sup>よ</sup>んだり<sup>い</sup>け<sup>ん</sup>を<sup>か</sup>わ<sup>り</sup>あ<sup>わ</sup>せ<sup>る</sup>こ<sup>と</sup>で、そ<sup>れ</sup>ぞ<sup>れ</sup>の<sup>ちが</sup>違<sup>ちが</sup>った<sup>か</sup>と<sup>ら</sup>え<sup>か</sup>た<sup>も</sup>

発<sup>は</sup>っ<sup>け</sup>ん<sup>も</sup>お<sup>も</sup>い<sup>ま</sup>す。こ<sup>う</sup>い<sup>う</sup>時<sup>じ</sup>間<sup>かん</sup>を<sup>も</sup>つ<sup>こ</sup>と<sup>で</sup>ず<sup>い</sup>ぶ<sup>ん</sup>意<sup>い</sup>識<sup>しき</sup>も<sup>か</sup>わ<sup>ら</sup>な<sup>い</sup>と<sup>も</sup>  
お<sup>も</sup>い<sup>ま</sup>す。